

事業完了報告書（足立区教育委員会）

調査研究期間等

調査研究期間	令和6年 6月 4日 ～ 令和7年 3月 15日
調査研究事項	I. 教育課程、教育環境整備に関すること ～生徒の個別最適な学びへの環境整備・支援の在り方～
調査研究のねらい	1 学齢不登校生徒の「学びの場」としての夜間中学の活用について、区内の全中学校と連携しながら、これまでの研究成果を都内夜間学級及び全国の夜間学級へと普及させていく。また、特別な支援を必要とする生徒への支援について、区教育委員会と連携し、インクルーシブ教育の推進について研究していく。 2 日本語を母語としない生徒の進学・就労を支援し、貧困の連鎖の遮断、多文化共生社会の実現に活かすことを目指していく。また、日本語を母語としない生徒が多い本校の実情も踏まえ、通訳などの外部指導員を有効活用し、生徒の理解を促進し、学びを深めると共に、教員の負担軽減にも資する教育活動の在り方について研究する。 3 本校独自で活用している日本語教材のデジタル化、タブレットを活用した自学自習教材の作成について研究する。 4 高齢生徒や歩行が困難な生徒の移動負担、また、全ての生徒の経済的負担の軽減を図りつつ、体験活動等でより充実した教育効果を挙げ得る校外学習の在り方について、研究する。
調査研究の内容	1 学齢不登校生徒の「学びの場」としての夜間中学の活用について、教育委員会教育相談課と連携し、登下校時の安全確保、不登校における学習支援の在り方や、行事への参加方法等を検証する。昨年度においては、NPO法人カタリバによる授業中のサポート実施や、他機関との協働体制を構築したことによって、学齢、かつ、特別な支援を必要とする不登校生徒に対するアプローチ方法といった新たな知見を得た。一方で、不登校生徒故に通学が不定期になり、他の生徒との進度に差ができてしまう、障害特性から起こる様々な課題も判明したところである。今年度は昨年度に得たノウハウのさらなる活用とともに、都内他の夜間中学への伝達、課題解決方法の共有などを進め、学齢不登校生徒の「学びの場」としての夜間中学について、継続的な調査・研究を進める。また、本夜間学級では、特別な支援が必要な生徒が増加している。新たな入学者の半数以上

	の生徒が特別な支援を必要としている。区教育委員会との連携、SC・SSWや医療、福祉機関との連携を通して、インクルーシブ教育の更なる推進について研究する。 2 年2回ずつ、足立区内全中学校を訪問し、校長らとの意見交換を通して不登校の状況を把握するとともに、過去の事例などを踏まえた学齢期の不登校生徒の夜間学級への適性等を共有する。 併せて、令和2年度に開設した日本語を母語としない中学生の通級施設「あだち日本語学習ルーム」との連携により、中学卒業と同時に高校進学が叶わなかった生徒が、夜間中学を経て高校進学を果たす流れを確立する等、外国籍生徒の高校進学支援の充実についても研究していく。 昨年度は、区内中学校を卒業した不登校経験のある生徒、6校7名が新たに学び直しとして夜間中学へ入学した。 3 複数の通訳者等を確保し、授業補助は勿論、生徒の行事への積極参加を促し、更には行事の企画・設計等に生徒の意見を反映させる事で生徒の学校生活、学校教育の充実を図る仕組み創りを研究する。また、通訳を介した教育相談を適宜実施し、学習上や生活上の困難を改善し、指導を充実させる取組みを探求する。 4 本校独自の日本語教材のデジタル化を推進するとともに、一人一台タブレットを活用した自学自習教材の作成を進める。さらに、ICT支援員を活用した校内研修会を通して、教職員のスキルアップを図るとともに、生徒の個別最適な学びを推進する。 5 校外学習や体験学習は生徒にとって特別な体験を与えるものである。特に、今後国内で生活する日本語を母語としない生徒にとっては、新たな知見を与え、生徒本人の充実した成長に大いに効果を発揮するものである。 バスを借り上げることで、高齢生徒や歩行が困難な生徒の移動負担を軽減すると共に、生徒の経済的負担を増やすことなく移動時間を短縮させ、見学場所を増やし、体験活動もより充実することができる。特に、京都・奈良の修学旅行では、借り上げバスを活用することで、より多くの神社仏閣、史跡や世界遺産を巡ることができ、日本の伝統と文化を体験することができる。昨年度は座禅体験も実施することができた。今年度も見学場所や体験の内容を、生徒達の成長に資するよう、より有意義な学習となるよう計画・実施する。また実施の成果と把握した課題を、次年度の計画に確実にフィードバックし、充実のサイクルを構築することについても探求していく。
--	---

	上記と合わせ、以下のとおり本教育研究活動の成果の周知と普及にも取り組んでいく。
調査研究の方法	3つの班に分けて、研究計画作成、調査研究を行い、報告書を作成する。 ① 広報・入学相談班 ・入学案内を利用した効果的な広報と相談活動の在り方を研究する。 ・足立区内 35 校中学校訪問計画と不登校生徒の実態調査と報告を行う。 ② ICT・校内研修班 ・自主教材に準拠した日本語のデジタル教材を作成する。 ・校外学習でのバス借り上げによる効果を検証する。 ・先進校・新設の夜間中学校視察計画と報告を行う。 ・校内研修の計画とまとめを行う。 ③ 外部指導員配置班 ・外部指導員活用法について研究する。 ・翻訳機器の効果的な使用法について研究する。
調査研究の成果	本年度は、各担当に分かれ、「教育課程、教育環境整備に関すること ～生徒の個別最適な学びへの環境整備、支援の在り方～」をテーマに研究を推進した。まず、広報・相談体制の充実については、NPO法人カタリバとの連携事業として、区内学齢の不登校生徒と夜間学級との連携、取組の周知を行った。不登校や特別な支援が必要な生徒であっても、少人数で授業を実施する夜間学級において、効果的な学習を実施することができた。また、夜間学級での学びをNPO法人カタリバが主催する、全国オンラインセミナーにて、本校教員、保護者及び生徒本人が夜間学級での学びや、進路、夢について、日本全国に発信した。さらに、足立区内 35 校の中学校を全教員で分担して訪問し、不登校生徒や外国籍で日本語理解が不十分な外国籍生徒に進路の一つとして足立区立第四中学校夜間学級があることを担当教員等に広報することを計画し実施することが出来た。加えて、本校管理職より、足立区の中学校校長会や副校長会にて、資料等を配布し、詳しく夜間学級の教育について説明を行った。その結果、足立区内の中学校から不登校生徒の入学相談が相次いだ。

	I C T ・校内研修班については、足立区立第四中学校夜間学級自主教材の見直しに着目し、自校作成の日本語教材テキスト「にほんご 1」「にほんご 2」のデジタル化を行った。また、デジタル単語帳を作成し、Chromebook で生徒が活用できるようにした。校内研修については、計画的に I C T を活用した研修会を実施することができた。 外部指導員配置班については、外部講師の活用という費目で文部科学省から予算が付き 20 時間分の通訳時間が確保できた。その結果、年度後半からこの予算を使い、区の予算と合わせて週二回通訳者に来てもらうことができた。また、外部指導員(通訳介助者)が必要と考えられる行事に活用することができた。その結果、生徒の行事等への理解が進み、スムーズに行事を行うことができた。 校外学習等で、バスを借り上げることで、高齢生徒や歩行が困難な生徒の移動負担を軽減すると共に、生徒の経済的負担を増やすことなく移動時間を短縮させ、見学場所を増やし、体験活動もより充実することができた。特に、京都・奈良の修学旅行では、借り上げバスを活用することで、より多くの神社仏閣、史跡や世界遺産を巡ることができ、日本の伝統と文化を体験することができた。 このように、本年度も様々な研究実践を通して、夜間学級の教育を前進させる成果が得られた。この研究成果は、本校夜間学級生徒に還元されるだけでなく、足立区内やその近辺に在住する義務教育未修了者や不登校生徒の学習権保障にもつながっていくものであると考えている。
調査研究の年間計画	
4 月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○NPO 法人カタリバとの打ち合わせ
5 月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○校内研修会（職員会議にて） ・年間の調査研究事項の確認 ・調査研究計画作成 ・研究組織作成 ①広報・入学相談 ② I C T ・校内研修 ③ 外部指導員配置
6 月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用）

	○各班会（分担決め） ○校内研修 ○NPO法人カタリバとの打ち合わせ	
7月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用）	
8月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○NPO法人カタリバとの打ち合わせ ○校内研修会	
9月	○校外学習（修学旅行の実施） ○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○足立区内中学校訪問 ○NPO法人カタリバとの打ち合わせ	
10月	○中間報告会（足立区教育委員会担当者を含めた校内での報告を行う。 また、必要に応じて東京都夜間中学校研究会での報告会を探る。） ○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○校内研修	
11月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○NPO法人カタリバ オンラインセミナー	
12月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○校内研修会	
1月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○校内研修会 ○区内学齢生徒夜間学級体験受け入れ	
2月	○研究の成果と課題のまとめ ○研究のまとめ（報告書作成） ○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用） ○区内学齢生徒夜間学級体験受け入れ	
3月	○足立区立第四中学校夜間学級 PR 活動（駅情報スタンド利用）	